

# 正誤表

よくわかるマスター

Microsoft® Office Specialist Microsoft® Word 2010 対策テキスト&問題集

FPT1032

## 正誤表の見方

ページ数: 修正箇所の発生したページ

誤: 誤った表記

正: 修正後、または今後修正する予定の正しい表記

修正版数: 正しい表記に修正した版数

修正版数が「第0版」となっている場合は、未修正の内容です。  
(修正時期については未定です。)

修正版数の「第1版」は、奥付の「初版」を意味しています。

## 【改版時期】

奥付日付	版数
2011年04月03日	第1版
2011年09月25日	第2版
2014年01月27日	第3版

## 【修正箇所】

ページ数	誤	正	修正版数
P118	2-7-4 入力オートフォーマットを使用する 解説 箇条書きや段落番号が設定された段落末で改行すると、次の行に箇条書きの行頭文字や次の段落番号が自動的に入力されます。…	段落の先頭で、記号を入力して[Tab]を押したり、数字と「.(ピリオド)」を入力したりすると、その段落に箇条書きや段落番号を設定することができます。…	第3版
P119	Lesson57 問題 (1) 箇条書きや段落番号が設定された段落末で改行すると、次の行に箇条書きの行頭文字が自動的に入力されるように設定してください。	(1) 段落の先頭で記号を入力して[Tab]を押すと、箇条書きが設定されるようにしてください。	第3版
P119.	Lesson57 (2) の問題・操作	削除	第3版
P164	How to ワードアートやSmartArtグラフィックの移動 ◆ワードアートまたはSmartArtグラフィックを選択→[↑][↓][←][→]	削除 (SmartArtグラフィックの文字列の折り返しが行内の場合、キー移動はできないため)	第3版
P275	問題8 (3) ①… ※2件目のデータが…	※3件目のデータが…	第3版
CD-ROM		Office 64ビットおよびWindows XPに対応済み	第2版

【修正箇所】

ページ数	誤	正	修正版数
P 92	How to タブ位置の移動 ◆段落を選択→《ホーム》タブ→《段落》グループのダイアログ起動ツール→《タブ設定》→《タブ位置》の数値を変更	◆段落を選択→《ホーム》タブ→《段落》グループのダイアログ起動ツール→《タブ設定》→《タブ位置》の一覧から移動前のタブ位置を選択→《クリア》→《タブ位置》に移動後のタブ位置を入力→《設定》	第2版
P190	Lesson111 ※入力モードが《半角英数》の状態です。「SPop」と入力し、2文字目が小文字に修正されないことを確認しておきましょう。	※を削除	第2版
P190.	POINT 《オートコレクトの例外処理》ダイアログボックス ③《その他の修正》タブ 修正されたくない英単語を登録します。	③《その他の修正》タブ スペルミスとして修正されたくない英単語を登録します。	第2版
P251	問題12 (2) ⑤《種類》の《▼》をクリックし、一覧から《幾何学模様》を選択します。	⑤《種類》の《▼》をクリックし、一覧から《幾何学模様》を選択します。 ※《幾何学模様》が表示されていない場合は、一覧から《記号と特殊文字》を選択します。 (⑤の下に※を追加)	第2版
P263.	問題23 (1) ③…→《透視撮影》の《透視投影(上)》をクリックします。	③…→《透視撮影》の《透視投影(上)》をクリックします。	第2版
P272	問題1 (1) ⑤《種類》の《▼》をクリックし、一覧から《その他の記号》を選択します。	⑤《種類》の《▼》をクリックし、一覧から《その他の記号》を選択します。 ※《その他の記号》が表示されていない場合は、一覧から《記号と特殊文字》を選択します。 (⑤の下に※を追加)	第2版
P 75	Point 隠し文字の設定 文字に「隠し文字」の書式を設定すると、文字を画面上で非表示にしたり、印刷しないようにしたりできます。	文字に「隠し文字」の書式を設定すると、文字を印刷しないようにできます。	第0版